

『種の起源(上)』 主な用語

〈生物の分類階級 (大きいほうから見て)〉

界—門—綱—目—科—属—節—種—亜種—変種—品種—亜品種

*ヒトの分類学的位置づけは
動物界、脊索動物門、哺乳綱、霊長目、ヒト科、ヒト属、ヒト(種)となる。

DIC
2397p

Y100
M100



種の起源(上)

しおり

『種の起源(上)』 主な用語

- 体制 II 生物の体の基本的なつくり。
- 交雑 II 遺伝的なタイプが異なる個体間での交配 (受精や受粉) のこと。
- 変異 II 個体間や集団間に見られる形質や特質の違い。
- 生存闘争 II 生きていく上で必要な資源をめぐる生物個体間の競争の比喩的な表現。
- 自然淘汰 II 生物個体の生存繁殖にとって有利な遺伝的変異を保存し不利な変異を排除する、自然による選抜の過程。
- 創造説 II すべての生物は神が個別に創造したものだという説。

DIC
2397p

Y100
M100



種の起源(上)

しおり